

令和3年大分県観光統計調査(令和3年1月～令和3年12月・確報)の概要

令和4年7月20日
大分県商工観光労働部 観光局 観光政策課

・この調査は、従業員10人以上の県内の宿泊施設の宿泊客数(186施設 令和3年1月時点)及び、主要有料観光施設(30施設)の交流客数などを調査したものです。従業員10人未満も含む県内全宿泊施設を対象とした宿泊客数調査については、観光庁「宿泊旅行統計調査」を参照ください。

- ・令和3年の宿泊客数は、令和2年と比べ△8.9%と減少した。
(参考:対前年比の推移) 令和2年:△43.7%、令和元年:△0.5%、平成30年:+1.2%
- ・国内宿泊客数は、令和2年と比べ△6.2%と減少した。
また、国内宿泊客の構成を居住地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く(構成比32.5%)、次いで大分県内(20.9%)、その他九州(県内・福岡県除く)・沖縄(14.7%)からとなっている。
- ・外国人宿泊客数は、令和2年と比べ△87.1%と減少した。
令和3年については一年を通して、観光目的の入国がなく、ビジネス目的等についても入国制限が行われたことが影響した。

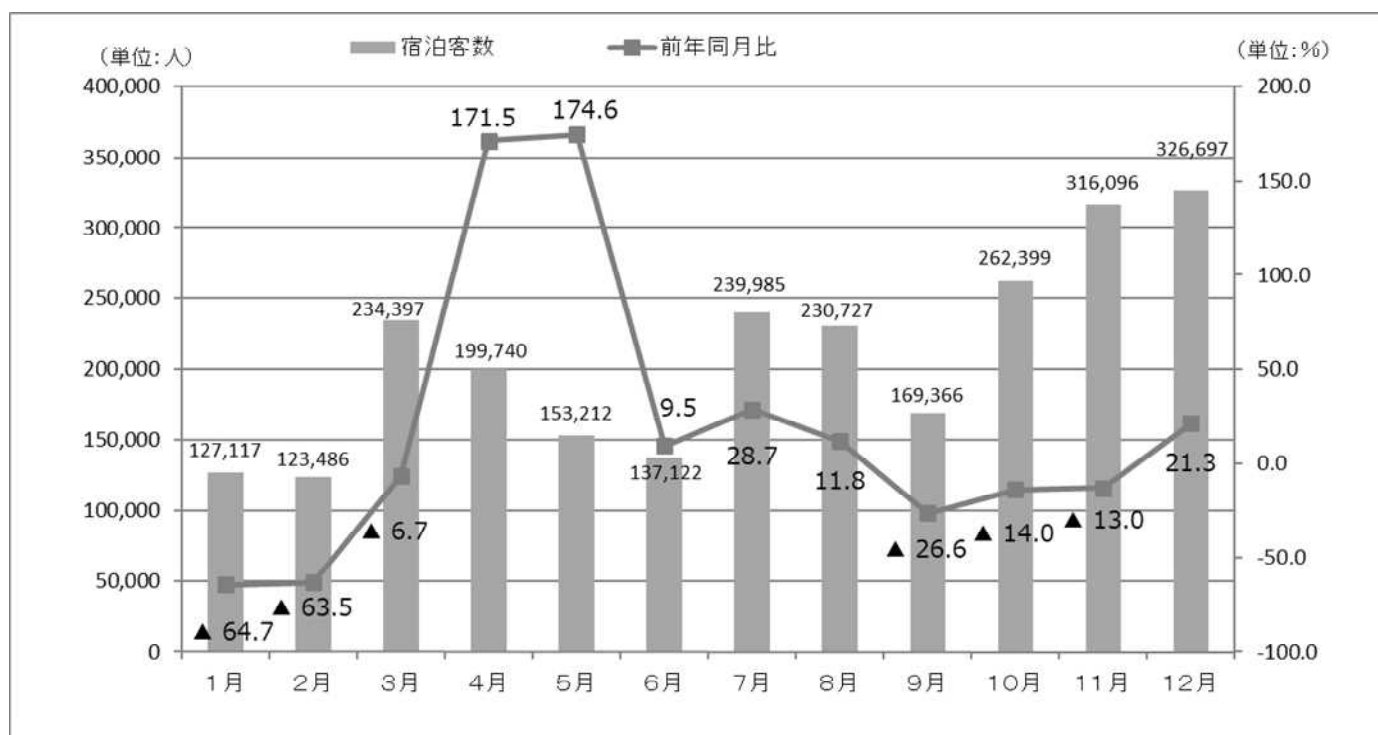
1 令和3年の県内宿泊客の動向

令和3年の県内における宿泊客数は、1年を通して緊急事態宣言等の移動制限の発出が繰り返されたことから、令和2年と比べ△8.9%と減少した。

令和3年の月別推移をみると、1月～3月、9月～11月で前年を下回った。これは、令和2年の移動制限開始前と新型コロナウイルス感染者数減少時期に旅行者が多かったためと考えられる。

外国人宿泊客数については、観光目的の入国がなく、ビジネス目的等についても通年に渡り制限があったことから、令和2年と比べ△87.1%と大幅に減少した。

【図表1】令和3年月別宿泊客数(確報)



2 国内宿泊客の動向

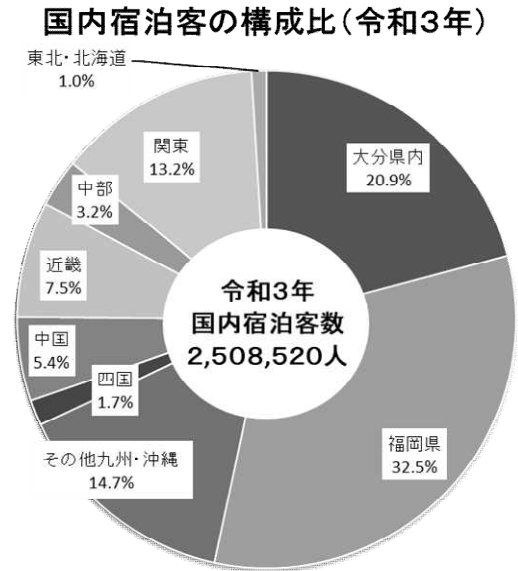
令和3年の国内宿泊客数は、令和2年と比べ△6.2%と減少した。【図表2】

月別推移を見ると、1月～3月、9月～11月で前年を下回った。これは、令和2年と令和3年の緊急事態宣言等の移動制限の発令状況によるものと考えられる。【図表3】

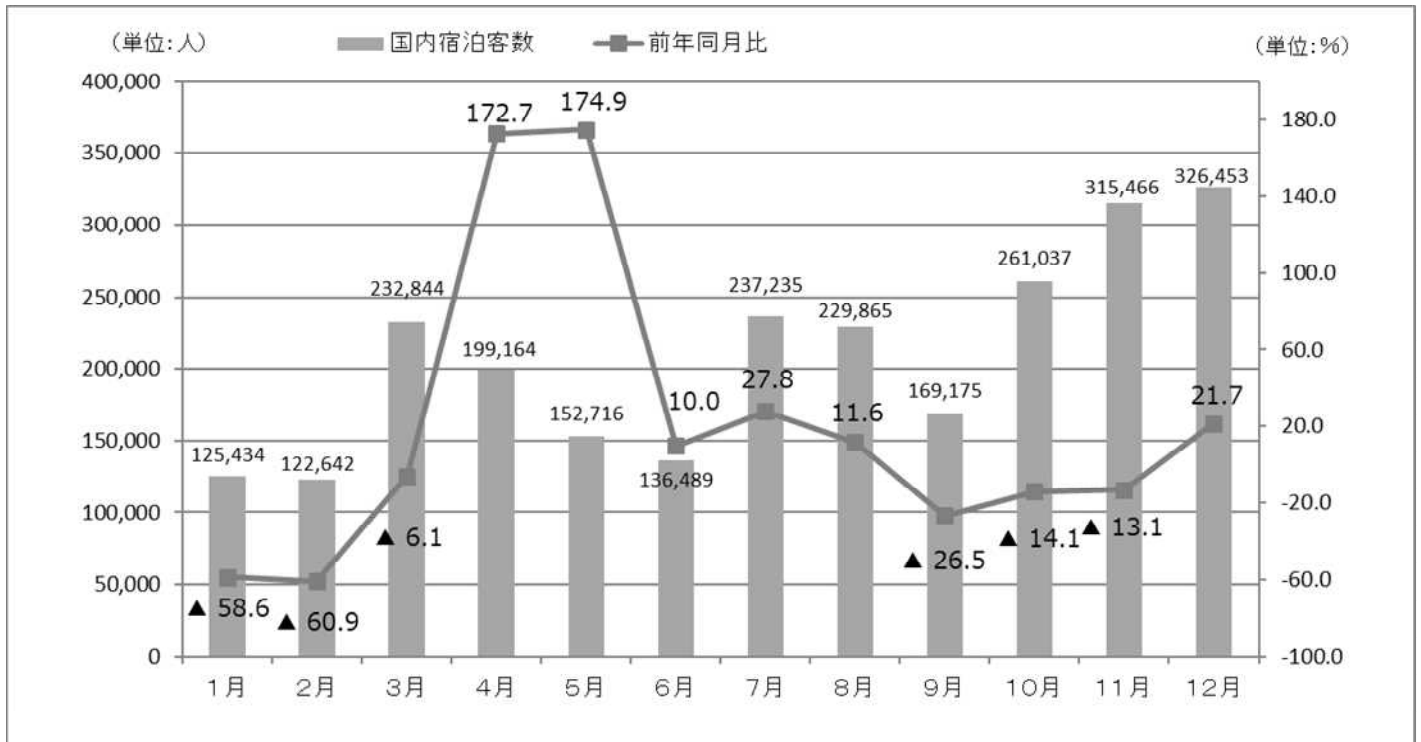
発地別に見ると、福岡県からの宿泊客数が最も多く32.5%を占め、次いで大分県内が20.9%、その他九州・沖縄が14.7%の順となっており、近隣からが7割近くを占める。発地別宿泊客数の対前年比を見ると、大分県内を除き、それ以外の地域で前年を下回った。【図表2】

【図表2】国内発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
大分県内	523,111	+15.3
福岡県	815,477	△8.1
その他九州・沖縄	368,372	△9.9
四国	41,894	△18.3
中国	136,097	△15.1
近畿	188,923	△22.0
中部	79,119	△19.3
関東	331,356	△3.7
東北・北海道	24,171	△15.0
国内小計	2,508,520	△6.2



【図表3】令和3年月別国内宿泊客数



3 外国人宿泊客の動向

令和3年の外国人宿泊客数は、令和2年と比べ△87.1%と減少した。【図表4】

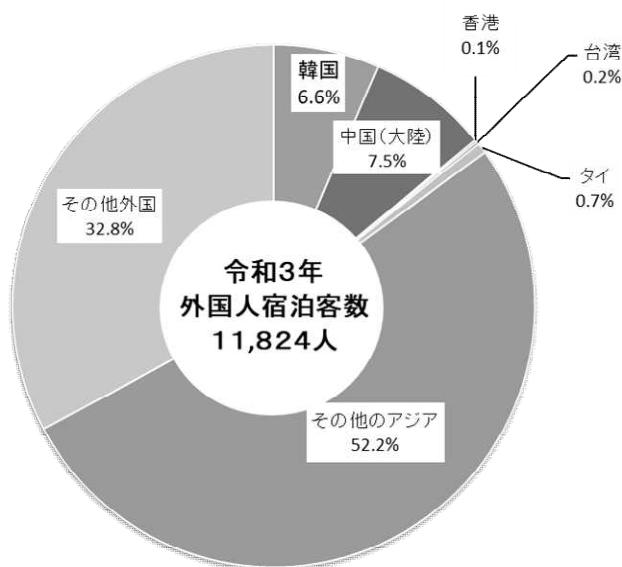
令和3年については一年を通して、観光目的の入国がなく、ビジネス目的等についても入国制限が行われた。3月以降については、比較対象の令和2年と共に母数が少ないため各月の前月比は大きく変動した。7月については、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ等の連泊利用による影響が見られる。【図表5】

外国人宿泊客の国籍別構成比をみると、その他のアジア、その他外国が85.0%を占めており、観光目的の利用がなかった一方で、県内の製造業等に従事する外国人の宿泊利用が継続されたことが影響している。【図表4】

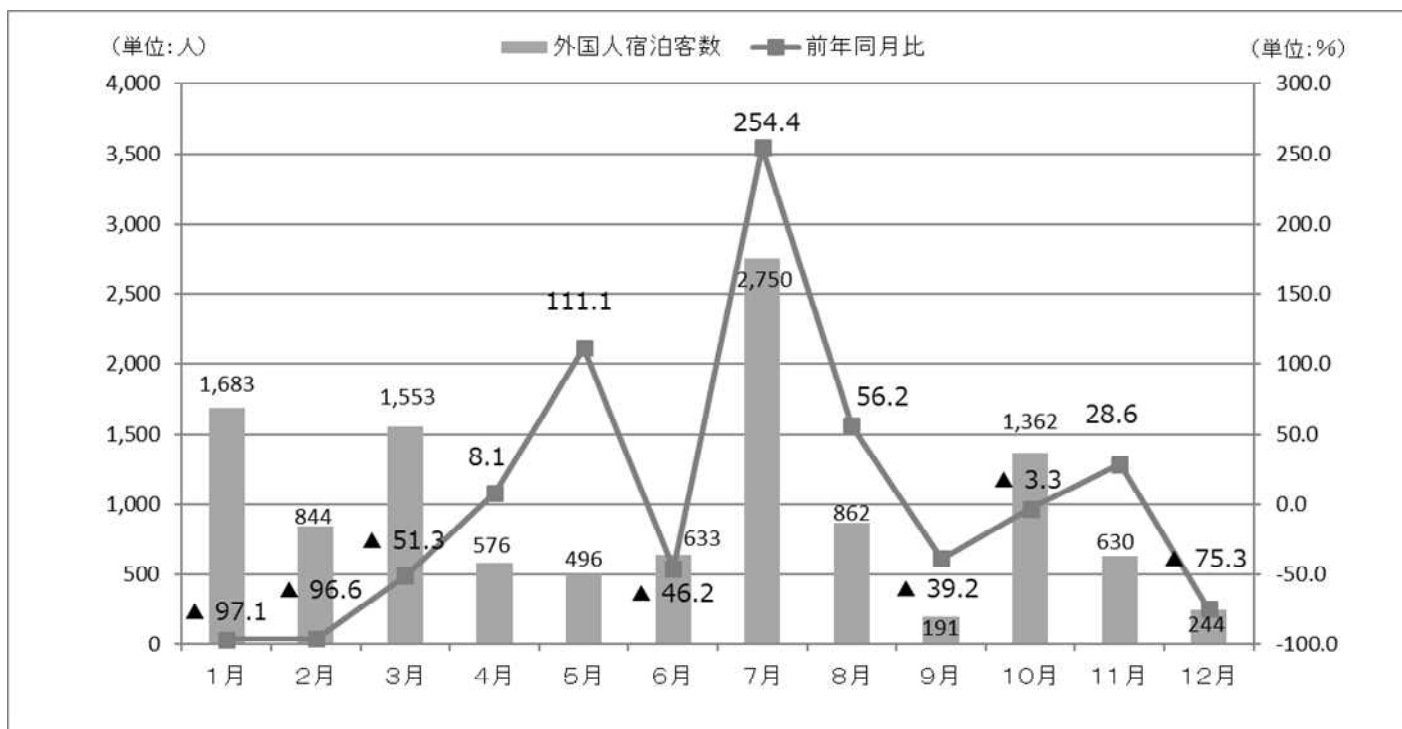
【図表4】外国人発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
韓国	776	△97.0
中国(大陸)	885	△92.8
香港	16	△99.9
台湾	21	△99.9
タイ	77	△99.9
その他のアジア	6,167	△38.9
その他外国	3,882	△29.8
外国小計	11,824	△87.1

外国人宿泊客の構成比(令和3年)



【図表5】令和3年月別外国人宿泊客数



4 市町村別宿泊客

令和3年の県内宿泊客数を市町村別に見ると、別府市が最も多く、全体の39.8%を占める。前年比では大分市、日田市が増加している。【図表6】

【図表6】市町村別宿泊客数

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	構成比 (%)
大分市	800,285	+11.2	31.8
別府市	1,002,713	△19.3	39.8
日田市	159,283	+16.6	6.3
竹田市	67,122	△13.8	2.7
由布市	178,605	△5.8	7.1
九重町	39,965	△20.6	1.6
その他の市町村	272,371	△22.2	10.8
県計	2,520,344	△8.9	100.0

5 県内交流客数

大分県観光統計調査では、県内交流客数として、有料観光施設の入場者数や道の駅レジ打ち数等の項目について調査しており、その結果は以下のとおりとなった。

・ 有料観光施設(入場者数)	3,131,174人 (対前年比 △51.7%)
・ 道の駅(レジ打ち数)	3,150,189回 (同 △14.3%)
・ 大分空港(乗降客数)	812,640人 (同 △59.0%)
・ 県内港湾乗降客数	714,041人 (同 △59.9%)

【参考】調査対象有料観光施設¹(合計30施設)

屋内施設(13施設)	市町村
大分マリンパレス水族館「うみたまご」	大分市
大分県立美術館	
大分市立美術館	
スギノイパレス	別府市
アクアビート	
福沢旧居・資料館	中津市
中津城	
サッポロビール九州日田工場	日田市
地底博物館鯛生金山	
滝廉太郎記念館	竹田市
富貴寺	豊後高田市
安心院葡萄酒工房	宇佐市
朝倉文夫記念館	豊後大野市
国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」	国東市

屋外施設(15施設)	市町村
高崎山自然動物園	大分市
別府地獄めぐり(別府地獄組合)	別府市
別府ロープウェイ	
城島高原パーク	
別府ラクテンチ	臼杵市
臼杵石仏	
風連鍾乳洞	津久見市
うみたま体験パーク「つくみイルカ島」	
くじゅう花公園	竹田市
岡城跡	
昭和の町	豊後高田市
熊野磨崖仏	
真木大堂	
九州自然動物公園アフリカンサファリ	宇佐市
稲積水中鍾乳洞	豊後大野市
ハーモニーランド	日出町

¹ 平成27年調査から、大分県立美術館、大分市美術館を対象施設として追加した。
平成30年調査から、マリンカルチャーセンター、九州湯布院民芸村を対象施設から除外した。
令和3年調査から、中津城、うみたま体験パーク「つくみイルカ島」を対象施設として追加した。